

令和4年度大分県民スポーツ大会における新型コロナウイルス感染防止対策について

【 37 綱引 】

1. 競技会感染対策ガイドラインについて

・公益社団法人 日本綱引連盟ガイドライン R2. 6. 30作成 R3. 4. 15改訂 参考

2. 各競技運営上での感染対策について（以下の項目を参考して記載すること）

①当日の受付時の留意事項

- ・マスクを各自持参すること。※マスクの着用は、競技中（レーン入場～退場）以外は必要。
- ・こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
- ・他の参加者や運営スタッフとの距離はできるだけ 2mを目安に確保すること。
- ・会場内では、大きな声での会話や応援等を控えること。笛や太鼓等も禁止。拍手は構わない。

②ロッカー（更衣）室や選手参集・待機所、コーチングエリアなどでの注意事項

- ・更衣室は、他の参加者と密にならないようにして、会話を控えて、短時間で済ませること。
- ・選手集会場所などの待機スペースは、広さにゆとりを持たせ、移動の手順を周知。
- ・一時的に休憩する場所では、対面での飲食や会話は避けて、長時間滞留しないこと。
- ・入退出の前後に手洗い又はアルコール消毒を促すこと。
- ・換気扇を常に回す、換気用小窓を開ける等換気に配慮すること。

③各競技会場での消毒、手洗い、換気等の注意事項

- ・インドア（屋内）では、感染防止のため、換気扇を回し、扉は開放した状態で競技を行う。
- ・チーム代表者は、メンバーリストをエントリー受付「トレイ」に提出し、チェック後受け取る。
- ・マスク着用は、競技中（レーン入場整列後から退場時まで）以外は必要。競技中は自由。
- ・対戦チームとの接触を避けるため、両サイドから入退場したり、ずらせて入退場すること。
- ・試合前後の対戦チームへの「礼」は行うが、ハグ等の接触行為や試合後のハイタッチはしないこと。
- ・当面レーン交代しないようにして、1本引きで、試合後にロープの拭き取りや交換を行うこと。
- ・シューズカバーやマスク・タオル等手荷物は、床面に置かず、持参した回収袋の保管すること。
- ・シューズクリーナーの使用は、共用する場合、靴底を素手で触らず、各自のタオルで行うこと。
- ・ジュニア部門以外では、主催者が用意する液体チョークの使用は、指定場所において、チーム単位での共用を認める。
- ・練習時間の引き合いは、マスク着用して、1分以内の短時間に抑える。
- ・競技前後の水分補給の際は、先に手洗いや手指のアルコール消毒を済ませて行う。

④手洗い場所・トイレでの注意事項

- ・便所は、複数の利用者が触れる部位（ドアノブ、水洗トイレのレバー等）については、こまめに拭き取り消毒を実施すること。換気扇を常に回す、換気用小窓を開ける等換気に配慮すること。

⑤ 体重計と計量の遵守事項

- ・体重計は、主催者が準備し、事前に参加者に計量場所・時間を周知。
- ・計量に際し、広い場所に配置することや事前予約を促すことで、密を避けることが必要。
- ・体重計は、その都度、台座等の接触部位を、除菌シートでの拭き取りを実施すること。
- ・選手は靴下着用とし、脱衣した着衣や靴は、床面に置かずに手荷物回収袋を持参。
- ・計量所には、計量係と参加者のために、入退場時にアルコール消毒ボトルを配置する。

⑥ 競技記録票の受け渡し

- ・競技記録票の受け渡し時は、対面したり接触を避けるため、「トレイ」を介した受け渡しを行うこと。
- ・記録票の受け渡し担当者は、マスクと手袋を着用し、「トレイ」もアルコール等で除菌清掃すること。

⑦ 参加チームのプラカードの管理

- ・プラカードは、参加チームが持ち回らずに、レーン近くに置場を設置して、自チームのプラカードを試合前後に、手袋をした監督やトレーナーが台座に立てたり、外したりすること。

⑧ 来場者への注意事項

- ・入場時に際して、整列の上、指定位置で必ずサーモグラフィ等による検温を済ませてマスク着用で入場してください。検温の際、発熱が認められる場合は入場できない。マスク着用のまま帰宅する。

⑨ 試合前後（試合間）の注意事項

- ・専用レーンの設置方法では、会場フロアの状態を見て、両面接着テープや下地テープの使用に配慮。
- ・レーンの管理は、レーン素材を傷めず、滑らないように油分を残さないことを前提にして、試合ごとにこまめな除菌清掃が必要。当面は、除菌シートのモップ清掃を試合ごとに実施。

⑨ 道具の取扱注意事項

- ・綱引ロープ 主催者が準備した綱引ロープを会場に配置する。
- ・ロープの管理は、試合中の汚染対策として、アルコールを含むタオル等で手拭きして、乾燥のため、試合ごとに交換する。過剰なアルコールの使用は、ロープが滑る原因となるため、留意する。
- ・レーンの管理は、レーン素材を傷めず、滑らないように油分を残さないことを前提にして、試合ごとにこまめな除菌清掃が必要。当面は、除菌シートのモップ清掃を試合ごとに実施する。

⑩ 体調管理チェックシートの取扱注意事項

- ・県実行委員会事務局が準備したものを使用し、受付時に提出すること。

⑪ 会場内の巡視

- ・会場内を巡視して、感染症対策等が遵守されているかを確認して、守られていない場合には注意喚起し、他の参加者の安全を確保する等の観点から、途中退場を求めることもありえる。

活動前

- 参加者名簿を作成し、氏名・連絡先を把握し、当日の体調チェックができるように準備する。
- 練習場所までマスクの着用を徹底する。
- 練習前に検温を行い、体調に不安がないことを確認したうえで、指導者(責任者)に報告する。
- 参加者全員の体調を確認してから活動を実施する。発熱や風邪の症状がある場合は無理に参加しない。
- 綱引ロープや床面の清掃・消毒を行い、密接しない最少人数で準備する。
- シューズやタオルやドリンクは個人別に用意し、まず手指の消毒を行うこと。
- 練習会場の換気や窓・扉の開放を行い、換気のタイミングを決めておくこと。

活動中

- 練習時には、過密になっていないか常に注意する。(引き合い練習は特に注意)
- 綱引ロープを握った練習以外では、マスクを着用すること。マスク無しでの会話は控えること。
- 練習の間にミーティングする場合は、密接せずに大声を控えて、必ず全員がマスクを着用して行う。
- 練習レーンまわりの床面は、直接手が触れないように適宜除菌シート等で清掃すること。
- シューズの清掃は、素手で靴底を触らないように手袋を着用し、個人用タイルを使用すること。
- シューズクリーナーや液体チョーク等の使用前後は、チーム共用となる場合、こまめな手指消毒を行う。
- 他の参加者の着衣やタオルやドリンク等には触れないこと。飲料の回し飲みは禁止する。
- 換気は、定期的に行うこと。

活動後

- 綱引ロープは、練習中のアルコール消毒は避けて、最後にまとめてタオル等で手拭き清掃する。
- 続いて床面の清掃・消毒を行い、密接しない最少人数で片付けた後は、30秒以上の手洗いをを行う。
- 活動で発生したゴミは、ビニール袋に密閉して持ち帰り処分すること。
- 活動後のミーティングも密にならないよう短時間で済ませ、帰宅途中でのマスクの着用を徹底する。
- 参加者の氏名・連絡先・体調報告を1か月間保管しておく。

活動上の注意

- 1 指導者(責任者)の方は、感染拡大防止を第一に考えて、活動を行ってください。
地域の自治体の方針や教育委員会などの規制に従うことが大前提ですので、地域の最新情報も合わせてご確認ください。活動の自粛要請が発令されている場合もあります。
- 2 参加する方は、軽い風邪症状(のどの痛みだけ、咳だけ、発熱だけなど)でも練習への参加を控えてください。若い世代では、重症化せずに無症状の場合もあり、気が付かないうちに、多くの人に感染を広げてしまうことがあります。
- 3 当面は、激しい練習メニューを避けて、基礎的な体力や技術の維持を優先させた練習に重点を置いて活動しましょう。練習内容は、引き合い等密接したり対面する形をなるべく避けて、単純な反復練習だけでなく、器具の使用など新たな興味の持てる練習となるように工夫してください。
練習観察記録を残して、参加者の意見や要望を取り入れて、常に修正改善していきましょう。